

乃村工藝社本社オフィス「RESET SPACE (RE/SP)」が 映画『騙し絵の牙』でロケ撮影協力

2021年3月26日（金）全国公開にあわせて、RE/SPを360度バーチャル体験できる特別ツアーを公開



株式会社乃村工藝社（以下、乃村工藝社）の本社オフィス内にあるコミュニケーションスペース「[RESET SPACE \(以下、RE/SP\)](#)」が、崖っぷち出版社を舞台にした逆転連発エンターテインメント映画『[騙し絵の牙](#)』のロケ地として使用されました。出版業界のクリエイションを空間でも表現されたい本映画の吉田大八監督と、空間を通してエンターテインメントを支援したい当社、2つの想いが一致し、主要キャストのトークイベントや打合せシーンで「RE/SP」の登場が実現しました。今回、映画の公開にあわせ「RE/SP」をウォークスルーし、空間の見どころや撮影場所で場面写真を見ることができる [360度バーチャルツアー](#)を公開します。

「RE/SP」は多様な個性のコミュニケーションを通して新たな創造性を生む「働き方の実験場」として2018年6月に乃村工藝社本社内に開設されました。吉田監督が「RE/SP」のコンセプトに共感してくださり、デザイン、家具、人々の過ごし方や場の使い方含めて、空間が持つ雰囲気もそのまま映画に活かされています。

また4月には多様な働き方・多様な価値観を受け入れ、健康・実験・ブランドをコンセプトに乃村工藝社グループの未来の働き方を創るワークプレイスを発表予定です。

乃村工藝社は今後もクリエイティビティを発揮し、エンターテインメントの活性化と、働きがいや企業価値向上につながるワークプレイス空間づくりなどを通して、新たな社会的価値を創出していきます。

『騙し絵の牙』について

本映画は、ミステリー小説「罪の声」の著者・塩田武士が、俳優・大泉洋を主人公にあてがきし、2018年本屋大賞にランクインするなど、話題・評判ともに世間の注目を集めた、前代未聞のベストセラー小説「騙し絵の牙」（角川文庫/KADOKAWA刊）が原作です。軽妙でコミカルな会話劇、組織とのスリリングな攻防、崖っぷち出版社を舞台に繰り広げられる、仁義なき騙し合いバトル。廃刊の危機に瀕した雑誌編集長・速水の仕掛ける大逆転の奇策とは？ 大泉洋主演×日本アカデミー賞監督・吉田大八×オールスターキャスト、そして実力派クリエイターが贈る、誰もが楽しめる本格エンターテインメント作品です。

